

朝日自然塾5

期間限定！ 残雪を楽しむかんじきトレッキングに外国人初参加

8.11 祝 山の日制定

東北森林管理局朝日庄内森林生態系保全センターでは、3月12日（土）朝日山地森林生態系保護地域周辺のフィールドを活用した森林と親しむ体験型森林環境教育の朝日自然塾を開催しました。

西川町と連携し、町内の小中学校に勤務するALT（外国語指導助手）2名とその友人4名の6名の外国人及び小学生以下の9名の子供たちを含む26名が、残雪の中、大井沢の自然ををかんじきで満喫しました。



冬芽や氷柱に感激

今回のプログラムはかんじきを履いて、木々の芽吹きや動物の足跡観察、そりすべりやけつ（お尻）ぞり体験、メープルシロップ用の樹液採取の体験やマタギの話など、参加者の皆さんは、自然の豊かさ、素晴らしさ、そして大切さをそれぞれに感じ取っていました。

当日は、柔らかな春の日が差し込む絶好のトレッキング日和。下は幼稚園児から上は77歳までの参加者の皆さんは、大井沢自然博物館内において残雪で見られる動物の種類や特徴などを聞いて元気にいざ出発。

初めてのかんじきに足を取られ悪戦苦闘する参加者も見られましたが、途中、半分ほど穂がでたネコヤナギや、ネバネバするトチノキの冬芽を触ったり、クロモジの香りを嗅いだりと、すぐに自然の中に溶け込んでいきました。



冬芽の香りや触感を体験



タヌキのふんを発見



ビニール袋でけつぞり

また、前夜からの雪が、朝までに活動したと思われるタヌキやキツネ、テン、ヤマドリなどの足跡を浮かび上がらせ、子供たちは興味津々。目を輝かせ足跡を追っていました。

森の頂上は、朝日連峰が見渡せるビューポイント。残念ながら朝日連峰は雲がかかっていたましたが各班毎及び家族毎に記念撮影。（缶バッチにしてプレゼント）

下りはビニール袋を尻に敷いて、けつぞり大会。大人も童心に返って、子供達と一緒に楽しみ、約2キロのトレッキングコースを全員無事踏破。

この後は、大井沢自然博物館隣でのメープルシロップ用の樹液採取体験。イタヤカエデの幹にドリルで穴を開けると、またたく間に樹液があふれ出し、参加者はそれを手に取り、舐めたりにおいを嗅

いだりしながら自然の恵みを体感。



メープル樹液採取



子供達と熊の毛皮をチェック

昼食後は、地元大井沢のクマハンターである猟友会の前田さんから「マタギの話」を伝授。スクリーンでの説明と合わせ、クマ探しのポイントや山の歩き方、狩人技術などの貴重な話しが盛りだくさん。時々出てくる迫力ある画像に大人も子供も外人さんもビックリ。

また、珍しいクマの手（冷凍保存）や毛皮に興味津々、子供達や外国人は、おそろおそろ手に触ったり毛皮を頭からかぶったり、寝そべったりするなどの貴重な体験でした。

イベント後の参加者アンケートでは、外国人の方からはイベント情報はフェイスブックで知った、プログラムでは特に野鳥観察に参加したいなどの感想がありました。

今回のイベントにご協力いただいた西川町、西川町自然と匠の伝承館、大井沢自然博物館、地元大井沢の皆さんの協力に感謝申し上げます。



多くの方々に参加いただきました

